

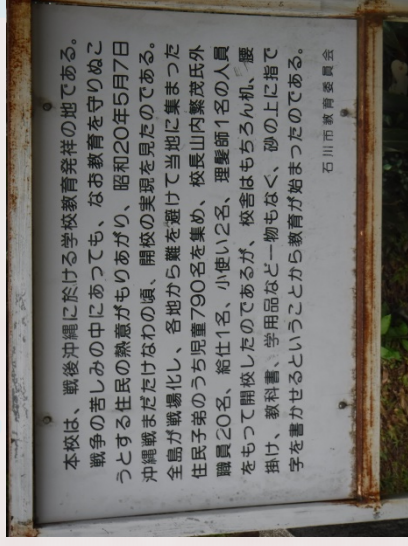
戦後のうるま市の教育と保育

- このような占領下、いまだ6月23日の沖縄戦の終息に至らない時期も通じて、県民の収容所では、半ば自然発生的に学校が開設され、教育を絶やさない努力が行なわれた。
- 教員の不足はきわめて深刻であったが、21年から旧具志川市（現うるま市）に沖縄文教学校が設立され、短期間講習による教員の速成養成による補充が進められた。（同校は、のちに琉球大学に吸収廃止）
- 保育所については、昭和40年に旧石川市において、公立の石川市立保育所が設置されている。

（資料 文部科学HP http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1317861.htm）

（資料：「児童福祉法制定50周年記念 戦後沖縄児童福祉史」平成10年3月31日 沖縄県生活福祉部発行）

うるま市立城前小学校は、戦後教育の発祥の地とされ、校内には「戦後教育発祥之碑」が建立されている。



石川市教育委員会